

注意

この情報は昨年度の入試情報です。

2012年度

龍谷大学 3年次編入学・転入学試験要項

(本学在学生の理工学部2年次転学科・転入学を含む)

(文学部、社会学部地域福祉学科・臨床福祉学科は社会人編入学・転入学試験を含む)

入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

龍谷大学は、建学の精神（浄土真宗の精神）に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生（ともいき）の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成することを「教育にかかるとともに基本方針」として掲げています。この基本方針に基づき、次の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を掲げています。

龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

各学部は、龍谷大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）のもと、各学部それぞれの学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針に基づき、各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を定めるとともに、各入学試験を設定しています。

■各学部の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○文学部

文学部では、建学の精神に基づいて、人文学の知的体系の研究・教授を通じ、現代社会の複雑な変化や諸問題に、自己を見失うことなく積極的・主体的に対応しつつ、社会に貢献できる教養及び専門性を備えた人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 文学部の教育理念や目的を十分に理解している人
- 2) 明確な目的意識と学修意欲とを持った人
- 3) 人文学の基盤となる「言葉」に対する鋭い感覚と正しい理解、そして豊かな運用能力のさらなる向上をめざして努力することのできる人

○経済学部

経済学部では、21世紀初頭において日本と世界の経済が大きな転換期を迎えるなかで、経済のグローバル化、情報化、地域経済の役割の増大などといった現代社会が直面する課題に対応できるような人の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 社会に対する幅広い関心を持ち、主体的に学修できる人
- 2) 様々なツールを用いて、自己を豊かに表現する能力をもった人
- 3) 新たな問題を発見し、その解決に自ら進んで取り組む人

○経営学部

経営学部では、学生のそれぞれの学修目標にあわせて、少人数の演習学修と、理論と実践を組み合わせたカリキュラムを提供することによって、変化の激しい時代に対応でき、社会から信頼される経営人（働くことを通じて社会に貢献する人）を養成することを目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 明確な目的意識と学習意欲をもった人
- 2) さまざまな場面で基本的な能力として求められるコミュニケーション能力をもった人
- 3) 知的好奇心が旺盛で、新しい課題に積極的に取り組む人

○法学部

法学部では、日本国憲法の理念を基礎に、法学と政治学の教育・研究を通じて、広い教養と専門的な知識をもって主体的に行動し、鋭い人権感覚と正義感のもとに自ら発見した問題を社会と連携して解決できる、自立的な市民の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に生じる諸問題に広く関心を有するとともに、その解決に取り組む意欲を有する人
- 2) 問題を論理的に分析する能力や、自らの意見を論理的に表明する能力を有する人
- 3) 自ら問題を発見し、それについて自ら考え、行動する能力を有する人

○理工学部

理工学部では、現代の自然科学を代表するキーワードである「情報」「システム」「エネルギー」「材料・物質」「環境」に対応し、人間と地球環境に調和した科学・技術の発展を支える6学科で構成されています。それぞれの学科において、最新の理学と工学を融合させることにより、新しい視点に立った学問の道を開き、時代の要請にかなった先端技術の発展に寄与しうる人材の育成を目指しています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 広い分野にわたり基礎学力に優れ、科学的センスを持っている人
- 2) 明確な目的意識と勉学意欲を持っている人
- 3) 知的好奇心や自然科学への関心を持っている人

○社会学部

社会学部では、社会を単なる人と人との結びつきにとらえるだけでなく、社会と環境との結びつきをも重視する必要があると考え、社会や地域における多様な関係を尊重する教育理念を掲げています。このような理念のもと、IT化、グローバル化、少子高齢化など急速な社会変化によって生じる、現代社会の諸課題に対して、創造的に対応できる知識や専門的能力、問題解決能力を持った人の育成をめざしています。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 現代社会に関して幅広く関心をもち、社会学部の教育理念を深く理解し、明確な目的意識をもって勉学に取り組む人
- 2) 社会や地域に生起する諸問題を分析し、その解決を図る方法について考察する能力をもった人（社会学科・コミュニティマネジメント学科）
- 3) 社会福祉の展開に関して強い関心をもち、社会や地域における福祉活動や対人援助の専門職として社会に貢献する姿勢をもった人（地域福祉学科・臨床福祉学科）

○国際文化学部

国際文化学部では、自己の文化への理解を基軸としながら、異文化を理解し、かつ尊重し、多様な国際的コミュニケーションのできる能力と人格をそなえた人材の育成を目指しています。外国語運用能力の向上を図るとともに、国際文化の専門領域を国際共生、芸術・メディア、地域文化、言語・教育など様々な視点からとらえ学習を深めます。

そのため、次のような人が入学することを求めています。

- 1) 国際社会の発展に貢献したいという明確な目的意識をもった人
- 2) 学部の教育理念を理解し、自身が興味関心の高い国・民族・文化などの専門領域を積極的に学んでいこうとする勉学意欲の高い人
- 3) 外国語の能力が高く、さらに力をつけたい人

募集学部・募集人員

学 部	学 科 ・ 専 攻	募集人員※		
		3年次編転入学	社会人編転入学	
文 学 部	真 宗 学 科	13名		
	仏 教 学 科	8名		
	哲 学 科	哲 学 専 攻	3名	
		教 育 学 専 攻	4名	
	史 学 科	国 史 学 専 攻	3名	
		東 洋 史 学 専 攻	3名	
		仏 教 史 学 専 攻	3名	
	日 本 語 日 本 文 学 科	4名		
	英 語 英 米 文 学 科	4名		
経 済 学 部	現 代 経 済 学 科	7名	社会人入試は実施しません。	
	国 際 経 済 学 科	5名		
経 営 学 部	経 営 学 科	5名	社会人入試は実施しません。	
法 学 部	法 律 学 科	5名	社会人入試は実施しません。	
	政 治 学 科	3名		
理 工 学 部	数 理 情 報 学 科	2名	社会人入試は実施しません。	
	電 子 情 報 学 科	2名		
	機 械 シ ス テ ム 工 学 科	2名		
	物 質 化 学 科	2名		
	情 報 メ デ ィ ア 学 科	2名		
	環 境 ソ リ ュ ー シ ョ ン 工 学 科	2名		
社 会 学 部	社 会 学 科	10名	社会人入試は実施しません。	
	コ ミ ュ ニ テ ィ マ ネ ジ メ ン ト 学 科	10名		
	地 域 福 祉 学 科	20名		
	臨 床 福 祉 学 科	20名		
国 際 文 化 学 部	国 際 文 化 学 科	30名	社会人入試は実施しません。	

※指定校推薦編入学試験の募集人員を含みます。

※文学部の募集人員には、社会人編転入学の募集人員（各学科・専攻とも若干名）を含みます。

出 願 資 格

3年次編入学・転入学／全学部・学科・専攻

次の(1)から(5)のいずれかに該当する者。

(1)大学に2年以上在学した者および2012年3月に2年次修了見込みの者。

ただし、文学部、経済学部、法学部、理工学部、社会学部、国際文化学部への出願者は4ページの出願条件の一つを満たしている者に限る。

(2)短期大学を卒業した者および2012年3月に卒業見込みの者。

(3)高等専門学校を卒業した者および2012年3月に卒業見込みの者。

(4)専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1700時間以上）を満たすものを修了した者および2012年3月に修了見込みの者。ただし、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。

注. (4)の資格で出願できるのは、経営学部・理工学部・社会学部・国際文化学部の4学部に限ります。

(5)その他本学において上記(1)(2)と同等以上の学力があると認める者。

注1. 法学部の転学科希望者は事前に法学部教務課に相談してください。

注2. 龍谷大学在学中で、同一学科・専攻の転入学は認めません（学科が同じでも専攻が異なれば転入学は可能です）。

2年次転学科・転入学（本学在学中に限る）／理工学部

本学理工学部または本学各学部在籍する者で、1年以上在学した者および2012年3月に1年次修了見込みの者。

ただし、4ページの出願条件の一つを満たしている者に限る。

社会人編入学・転入学／文学部

2012年4月1日現在、満25歳に達し、次の(1)から(4)のいずれかに該当し、かつ(5)から(7)のいずれかに該当する者。

ただし、転入学試験出願者は4ページの出願条件の一つを満たしている者に限る。

(1)大学に2年以上在学した者、あるいは2012年3月に2年次修了見込みの者。

(2)短期大学を卒業した者、または2012年3月卒業見込みの者。

(3)高等専門学校を卒業した者、または2012年3月卒業見込みの者。

(4)その他本学において上記(1)(2)と同等以上の学力があると認められた者。

(5)勤労者等

①就業者・就業予定者等（公務員、会社・団体等勤務者、自営者、自活者、就業予定者、自活予定者）

②就業経験のある者（定年退職者等）

(6)主婦等（主婦、その他家事従事者）

(7)寺院関係者（浄土真宗をはじめとする仏教各宗派の住職、坊守、寺族、門徒推進員、門徒推進員予定者、門信徒等）

注. 龍谷大学文学部在学中で、同一学科・専攻の転入学は認めません（学科が同じでも専攻が異なれば転入学は可能です）。

※年齢が出願資格に満たない社会人の方は、一般の3年次編入学・転入学試験を受験してください。

社会人編入学・転入学／社会学部 地域福祉学科・臨床福祉学科

入学時に社会人としての経験を3年以上有し、次の(1)(2)のいずれかに該当する者。

(1)大学に2年以上在学し、所定の単位を修得した者。

(2)短期大学または高等専門学校を卒業した者。

転入学出願条件

文学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または40単位以上修得済みで本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、40単位以上修得済みで2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
経済学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
法学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
理工学部 (3年次転入学)	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。 (注) なお、転入の学年は、修得単位・成績・試験結果などを考慮して、第2年次となる場合があります。(「合否判定」参照)
理工学部 (2年次転学科 2年次転入学)	(1)本学に1年以上在学し、30単位以上修得済みの者または本学2年次転入学時に30単位以上修得見込みの者。 (2)本学1年に在学し、1年次修了時に30単位以上修得見込みの者。
社会学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。
国際文化学部	(1)大学に2年以上在学し、62単位以上修得済みの者または本学3年次転入学時に62単位以上修得見込みの者。 (2)大学2年に在学し、2年次修了時に62単位以上修得見込みの者。

注. 単位修得見込みにより転入学試験に合格しても、その単位数が修得できなかった場合は入学を取り消します。
(その場合は、至急当該学部教務課に連絡してください。)

出願期間

理工学部	2011年6月15日(水)～2011年6月21日(火)〈締切日消印有効〉
文学部・経済学部 経営学部・法学部 社会学部・国際文化学部	2011年10月25日(火)～2011年11月1日(火)〈締切日消印有効〉

出 願 書 類

3 年次編入学・転入学／全学部・学科・専攻

社会人編入学・転入学／文学部、社会学部 地域福祉学科・臨床福祉学科

- (1)出願シート（本学所定用紙）
- (2)卒業（見込）証明書
四年制大学在学中の者は在学期間証明書（本学所定用紙）または卒業見込証明書、短期大学・高等専門学校在学中の者は卒業見込証明書を提出してください。
- (3)成績証明書
- (4)編入学・転入学試験志望理由書（本学所定用紙）
- (5)単位修得見込証明書（四年制大学在学中で、4 ページに掲載の出願条件に記載している修得単位見込みの者が、それぞれの学部へ出願する場合に必要です。）

専修学校出身者 3 年次編入学／経営学部・理工学部・社会学部・国際文化学部

- (1)出願シート（本学所定用紙）
- (2)修了（見込）証明書
- (3)成績証明書
修了見込みの者は、成績証明書に加えて、現在履修中の科目がわかる「履修歴」の写し等。
- (4)編入学・転入学試験志望理由書（本学所定用紙）
- (5)受験資格証明書（本学所定用紙）
- (6)「高等学校卒業証明書」、「大学入学資格検定合格証明書」または「高等学校卒業程度認定試験合格証明書」（ただし、免除科目がある場合は最終高等学校調査書または成績証明書が必要です。）

2 年次転学科・転入学／理工学部

- (1)出願シート（本学所定用紙）
- (2)在学期間証明書（本学所定用紙）
- (3)編入学・転入学試験志望理由書（本学所定用紙）

※いったん提出された出願書類は、返却いたしません。

個人情報保護について

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や可否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用するものです。また、入学試験合格者の氏名・住所は、各学部学会、龍谷大学親和会（保護者会）、龍谷大学校友会（在学生自治会）、龍谷大学校友会（同窓会組織）と共同利用します。以上の4組織以外の第三者に、本人の同意を得ることなく個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<http://www.ryukoku.ac.jp/privacy.html>

出願書類送付先

〒604-8799 日本郵便中京支店留「龍谷大学入学試験願書受付センター」宛（郵送に限ります。）

※本学所定の封筒にて、簡易書留・速達で郵送してください。

受験料・納入方法

受験料 35,000円

- (1)出願シートの振込依頼書に記入の上、金融機関（銀行等）窓口にて出願期間内に納入してください。
取扱金融機関収納印をもって納入とみなします。受験料領収書は本人控えです。
- (2)いったん納入された受験料は、受験意思の表明とみなし、返還いたしません。

試験日・試験会場

学 部	試 験 日	試 験 会 場
理 工 学 部	2011年 7 月 2 日(土)	瀬田キャンパス（大津市瀬田大江町横谷1-5）
文学部・経済学部・経営学部・法学部	2011年11月27日(日)	深草キャンパス（京都市伏見区深草塚本町67）
社会学部・国際文化学部		瀬田キャンパス（大津市瀬田大江町横谷1-5）

試験科目

学部	専門科目		外国語	面接
文学部	一般	各学科、専攻により異なる。 ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。	英語	
	社会人			
経済学部	経済学 ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。			
経営学部	経済学、経営学の2科目から1科目選択			
法学部	法律学科：法学 政治学科：政治学 ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。			
理工学部 (3年次編入学・転入学)	数理情報学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「微積分」、「線形代数」、「プログラミング」、「力学」) 専門科目Ⅱ (2年次までの基礎学力：「微積分」、「線形代数」、「プログラミング」、「力学」)		
	電子情報学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「数学」微分・積分・行列、「物理」力学、「計算機基礎」コンピュータの仕組みなど) 専門科目Ⅱ (2年次までの基礎学力：「数学」微分方程式・ベクトル解析の初歩、「電気回路」直流回路および交流回路、「電磁気学」静電気・静磁気、「計算機基礎」コンピュータの構成等)		
	機械システム工学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「物理」、「微分・積分」、「線形代数」) 専門科目Ⅱ (2年次までの基礎学力：「機械力学」、「材料力学」、「熱力学」)		
	物質化学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「化学基礎」原子と元素・化学結合・物質の性質・有機化学の基礎など) 専門科目Ⅱ (2年次までの基礎学力：「分析化学」化学平衡、「物理化学」化学熱力学、「無機化学」無機化学全般、「有機化学」炭化水素化合物の構造と反応・立体化学・ハロゲン化アルキル・芳香族化合物の化学など)		
	情報メディア学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「数学」微積分、線形代数) 専門科目Ⅱ (2年次までの専門基礎学力：「情報・メディア工学」計算機基礎、プログラミング)		
	環境ソリューション工学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「物理」力学、「化学」無機化学、「数学」微分・積分) 専門科目Ⅱ (2年次までの基礎学力：「環境工学」の基礎的事項、「生態学」の基礎的事項)		
理工学部 (2年次転学科・転入学)	数理情報学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「微積分」、「線形代数」、「プログラミング」、「力学」)		
	電子情報学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「数学」微分・積分・行列、「物理」力学、「計算機基礎」コンピュータの仕組みなど)		
	機械システム工学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「物理」、「微分・積分」、「線形代数」)		
	物質化学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「化学基礎」原子と元素・化学結合・物質の性質・有機化学の基礎など)		
	情報メディア学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「数学」微積分、線形代数)		
	環境ソリューション工学科	専門科目Ⅰ (1年次までの基礎学力：「物理」力学、「化学」無機化学、「数学」微分・積分)		
社会学部	一般	社会学科……………社会学 コミュニティマネジメント学科……………コミュニティ論 地域福祉学科・臨床福祉学科……………社会福祉学原論(社会福祉史を含む) ※専門課程履修に必要な基礎的素養について試験する。		
	社会人	地域福祉学科・臨床福祉学科……………小論文		
国際文化学部	小論文			

試験時間・合否判定

文学部					
試験時間	9:15～9:40	9:40～10:50	11:30～12:30	13:30～	
試験科目	説明	専門科目	外国語（英語）	面接	
文学部／社会人編入学・転入学					
試験時間	9:15～9:40	9:40～10:50		13:30～	
試験科目	説明	専門科目		面接	
経済学部					
試験時間	8:50～9:10	9:10～10:20	10:50～11:50	13:10～	
試験科目	説明	専門科目	外国語（英語）	面接	
経営学部、法学部および社会学部					
試験時間	9:45～10:00	10:00～11:10	11:30～12:30	13:30～	
試験科目	説明	専門科目 ※小論文 (社会学部社会人編入のみ)	外国語（英語）	面接	
理工学部／3年次編入学・転入学					
試験時間	9:45～10:00	10:00～11:10	11:30～12:30	13:30～14:40	15:00～
試験科目	説明	専門科目Ⅰ	外国語（英語）	専門科目Ⅱ	面接
理工学部／2年次転学科・転入学（本学在學生に限る）					
試験時間	9:45～10:00	10:00～11:10	11:30～12:30	13:30～	
試験科目	説明	専門科目Ⅰ	外国語（英語）	面接	
国際文化学部					
試験時間	8:50～9:10	9:10～10:10	10:30～11:30	12:30～	
試験科目	説明	小論文	外国語（英語）	面接	

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

<合否判定>

- (1)出願書類、学科試験、面接などを総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日をすべて欠席扱いとし、結果は通知しません。
- (2)法学部の転学科は、原則として書類審査（転学前学科入学後の成績を含む）および面接を総合して、合否を判定します。
- (3)理工学部の3年次編・転入試験は、修得単位・成績、学科試験および面接を総合して、合否を判定します。
その判定において編・転入の学年が第2年次となる場合があります。

合格発表

学部	合格発表日
理工学部	2011年7月8日(金)
文学部・経済学部・経営学部・法学部 社会学部・国際文化学部	2011年12月10日(土)

- (1)合否結果は本人宛に特定記録・速達で通知します。
- (2)合否結果に関する電話での問い合わせには一切応じられません。

入 学 手 続

合格者には、合格通知書とともに入学時までに必要な提出書類や手続方法を通知します。
所定の期日までに入学手続（ⅠおよびⅡ）を完了してください。

<理工学部>

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2011年7月8日(金)～2011年7月14日(木)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。

手続期間 2012年2月17日(金)～2012年3月23日(金)

<文学部・経済学部・経営学部・法学部・社会学部・国際文化学部>

入学手続Ⅰ 下記期間内に、入学申込金200,000円を納入してください。

手続期間 2011年12月12日(月)～2011年12月16日(金)

入学手続Ⅱ 下記期間内に、入学時納入金と入学申込金との差額を納入してください。

手続期間 2012年2月17日(金)～2012年3月23日(金)

注1. 学費・諸会費については、10・11ページを参照してください。

2. 入学手続の詳細については、合格通知書送付の際通知します。

3. 納入された入学申込金は返還いたしません。その他の納入金の返還については「授業料等返還制度」を参照してください。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、**2012年3月31日(土)15:00まで（提出書類必着）**に下記の要領で手続をしてください。所定の手続を完了されると、入学申込金（200,000円）を除く入学時納入金を返還いたします。

1. 提出書類

「入学辞退届・授業料等返還願」（本学所定用紙＝合格者に発送する「入学ハンドブック」に綴じ込み）

2. 受付番号取得

所定用紙提出前に、入試部に電話をして、受付番号を取得し、書類の所定の場所にその番号を記入してください。
受付番号の記入していない書類は受理しません。

3. 提出先

龍谷大学入試部（深草キャンパス）

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL：075-645-7887（ダイヤルイン）

*大宮、瀬田キャンパスでは受付をしていません。

4. 提出方法

郵送の場合は、**2012年3月31日(土)15:00までに到着するよう簡易書留・速達で送付**してください。

持参の場合は、**2012年3月31日(土)15:00までに提出**してください。

*2012年3月31日(土)15:00以降の受付は一切いたしません。

5. 備考

「入学辞退届・授業料等返還願」を郵送された方には、到着後1～2週間程度で、受理通知を、保証人宛に送付します。授業料等の返還金は、2012年4月末日までに指定の銀行口座に振り込みます。

単位の認定等

入学後の単位の認定は、各学部で行います。

文学部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、60～64単位を認定します。ただし、出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を上限とします。
経済学部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
経営学部	出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
法学部	出身大学・短期大学・高等専門学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。
理工学部	<p>出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校での修得単位を基礎として、<u>理工学部当該学科での開講科目の範囲で認定することを基本とします。</u></p> <p>なお、理工学部では「進級制度」を設けているため、認定等に当たっては入学後の学修面で支障のないよう以下のような措置が講じられます。ただし、これら措置により認定する単位数は、前所属校における修得単位数を超えることはできません。</p> <p>①入学前の学修指導 編入学・転入学試験合格発表の後、早い時期に本学部教員が合格者を面談し、学科カリキュラム・単位認定制度（試験による単位認定制度および入学前科目履修制度を含む）を説明し、入学までの学修計画について指導します。</p> <p>②3年次および4年次配置科目の認定 編入学・転入学生が前所属校において単位取得した科目が、当該学科では編入学・転入学年より上の学年に配置されていても、単位認定を行うことがあります。</p> <p>③実力試験による単位認定 編入学・転入学生の前所属校に対応する科目がない場合には、実力を試す機会を与える為に試験を課し、合格点を取れば単位認定できる制度があります。</p>
社会学部	<p><社会学科・コミュニティマネジメント学科></p> <p>派立・関係短期大学出身者は64単位（仏教の思想を含む）、それ以外の短期大学出身者は60単位（仏教の思想を除く）を認定します。</p> <p>四年制大学出身者については、短期大学からの編入生に準じ、個別対応とします。</p> <p>高等専門学校・専修学校出身者は、修得単位を基礎として、当学科での開講科目の範囲で個々に認定します。</p>
	<p><地域福祉学科・臨床福祉学科></p> <p>派立・関係短期大学出身者は62単位（仏教の思想を含む）、それ以外の短期大学出身者は58単位（仏教の思想を除く）を認定します。</p> <p>ただし、社会福祉系短大出身の編入生で社会福祉士国家試験受験基礎資格を有する者に対しては、認定単位内で希望する指定科目を20単位まで認定することがあります。</p> <p>四年制大学出身者については、短期大学からの編入生に準じ、個別対応とします。</p> <p>高等専門学校・専修学校出身者は、修得単位を基礎として、当学科での開講科目の範囲で個々に認定します。</p>
国際文化学部	出身大学・短期大学・高等専門学校・専修学校での修得単位を基礎として、62単位を上限として認定します。

学 費 等

2012年度の学費・諸会費は次のとおりです（予定）。

他大学・他短期大学・高等専門学校・専修学校出身者

（単位：円）

		文学部 経済学部 経営学部	法学部 国際文化学部	理工学部	社会学部
学 費	入 学 金 ^{※1}	100,000	100,000	100,000	100,000
	前 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500
	前 期 施 設 費	125,000	125,000	165,000	125,000
	前 期 実 験 実 習 料	—	—	71,800	17,950
諸 会 費	学 会 入 会 金	2,000	2,000	2,000	2,000
	学 会 費	3,000	4,000	3,000	4,000
	学 友 会 入 会 金	4,500	4,500	4,500	4,500
	前 期 学 友 会 会 費	2,000	2,000	2,000	2,000
	親 和 会 入 会 金	3,000	3,000	3,000	3,000
	親 和 会 会 費	7,000	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	10,000	10,000	10,000	10,000
入 学 時 納 入 金		622,000	623,000	842,800	640,950
学 費	後 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500
	後 期 施 設 費	125,000	125,000	165,000	125,000
	後 期 実 験 実 習 料	—	—	71,800	17,950
諸 費	後 期 学 友 会 会 費	1,500	1,500	1,500	1,500
後 期 納 入 金		492,000	492,000	712,800	509,950
初 年 度 納 入 金		1,114,000	1,115,000	1,555,600	1,150,900

※1 入学金は入学年度のみ納入していただきます。

本学短期大学部出身者

（単位：円）

		文学部	経済学部 経営学部	法学部 国際文化学部	理工学部	社会学部
学 費	入 学 金	—	—	—	—	—
	前 期 授 業 料	365,500	365,500	365,500	474,500	365,500
	前 期 施 設 費	125,000	125,000	125,000	165,000	125,000
	前 期 実 験 実 習 料	—	—	—	71,800	17,950
諸 会 費	学 会 入 会 金	—	2,000	2,000	2,000	2,000
	学 会 費	3,000	3,000	4,000	3,000	4,000
	学 友 会 入 会 金	—	—	—	—	—
	前 期 学 友 会 会 費	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
	親 和 会 入 会 金	—	—	—	—	—
	親 和 会 会 費	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
	校 友 会 予 納 金	—	—	—	—	—
入 学 時 納 入 金		502,500	504,500	505,500	725,300	523,450
学 費	後 期 授 業 料	365,500	365,500	365,500	474,500	365,500
	後 期 施 設 費	125,000	125,000	125,000	165,000	125,000
	後 期 実 験 実 習 料	—	—	—	71,800	17,950
諸 費	後 期 学 友 会 会 費	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
後 期 納 入 金		492,000	492,000	492,000	712,800	509,950
初 年 度 納 入 金		994,500	996,500	997,500	1,438,100	1,033,400

本学転専攻・転学科者

(単位：円)

		文学部 経済学部	法学部	理工学部	社会学部
学 費	入 学 金	—	—	—	—
	前 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500
	前 期 施 設 費	125,000	125,000	165,000	125,000
	前 期 実 験 実 習 料	—	—	71,800	17,950
諸 会 費	学 会 入 会 金	—	—	—	—
	学 会 費	3,000	4,000	3,000	4,000
	学 友 会 入 会 金	—	—	—	—
	前 期 学 友 会 会 費	2,000	2,000	2,000	2,000
	親 和 会 入 会 金	—	—	—	—
親 和 会 会 費	7,000	7,000	7,000	7,000	
校 友 会 予 納 金	—	—	—	—	
入 学 時 納 入 金		502,500	503,500	723,300	521,450
学 費	後 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500
	後 期 施 設 費	125,000	125,000	165,000	125,000
	後 期 実 験 実 習 料	—	—	71,800	17,950
奨 費	後 期 学 友 会 会 費	1,500	1,500	1,500	1,500
後 期 納 入 金		492,000	492,000	712,800	509,950
初 年 度 納 入 金		994,500	995,500	1,436,100	1,031,400

本学転学部者・本学出身者

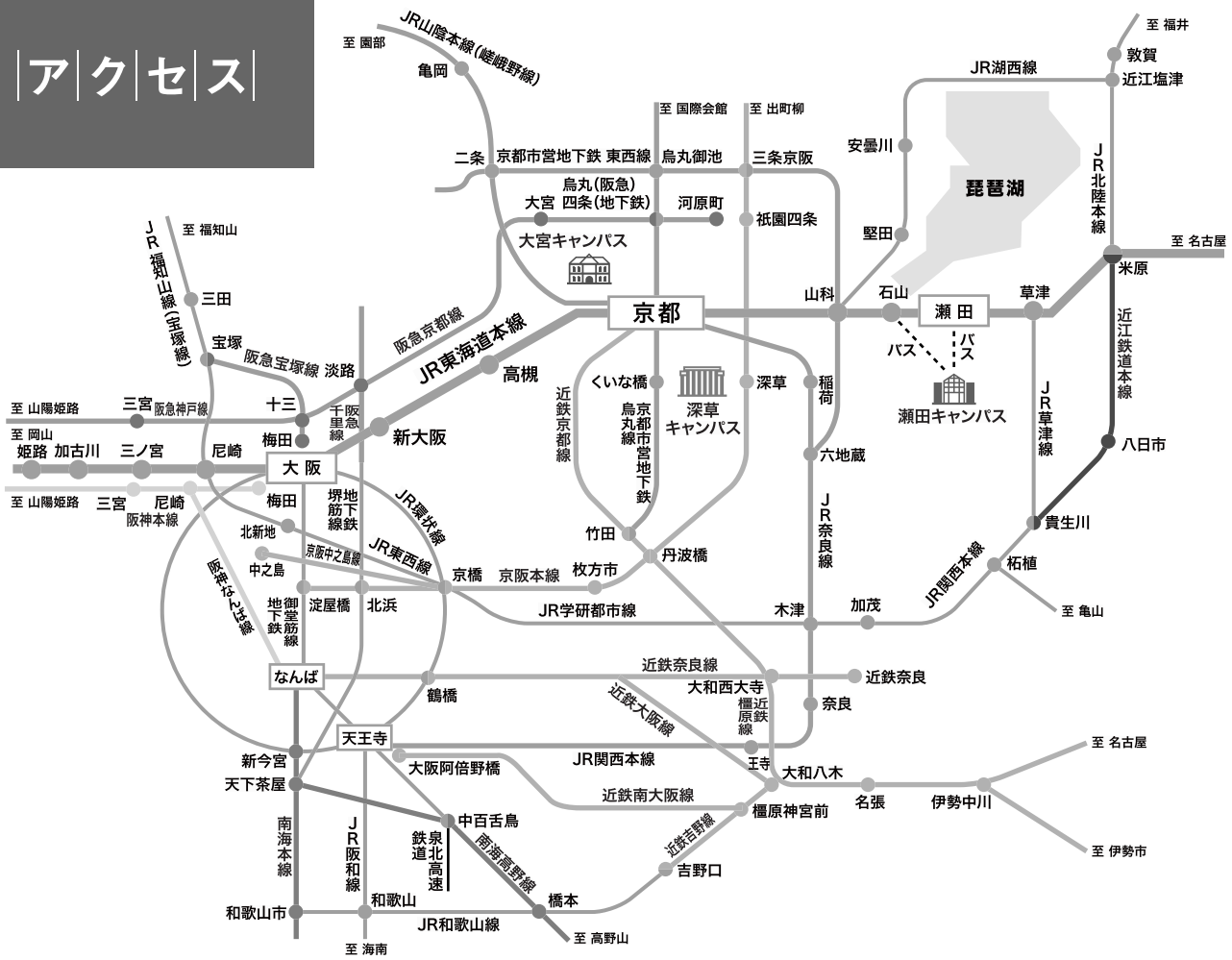
(単位：円)

		文学部 経済学部 経営学部	法学部 国際文化学部	理工学部	社会学部
学 費	入 学 金	—	—	—	—
	前 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500
	前 期 施 設 費	125,000	125,000	165,000	125,000
	前 期 実 験 実 習 料	—	—	71,800	17,950
諸 会 費	学 会 入 会 金 ※1	2,000	2,000	2,000	2,000
	学 会 費	3,000	4,000	3,000	4,000
	学 友 会 入 会 金	—	—	—	—
	前 期 学 友 会 会 費	2,000	2,000	2,000	2,000
	親 和 会 入 会 金	—	—	—	—
親 和 会 会 費	7,000	7,000	7,000	7,000	
校 友 会 予 納 金	—	—	—	—	
入 学 時 納 入 金		504,500	505,500	725,300	523,450
学 費	後 期 授 業 料	365,500	365,500	474,500	365,500
	後 期 施 設 費	125,000	125,000	165,000	125,000
	後 期 実 験 実 習 料	—	—	71,800	17,950
奨 費	後 期 学 友 会 会 費	1,500	1,500	1,500	1,500
後 期 納 入 金		492,000	492,000	712,800	509,950
初 年 度 納 入 金		996,500	997,500	1,438,100	1,033,400

※1 本学出身者で出身学部と同じ学部編入学または転入学した場合、学会入会金は不要です。

注. 諸会費は、学会、学友会、親和会、校友会からの委託徴収金です。

アクセス



龍谷大学までの経路検索はこちら▶

龍谷大学 経路検索

検索



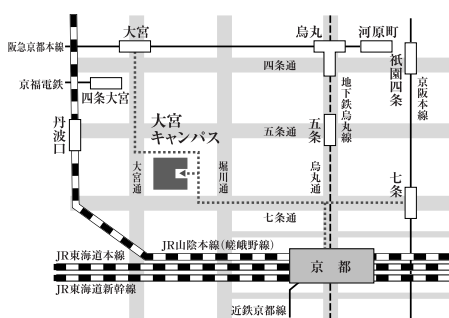
大宮キャンパス



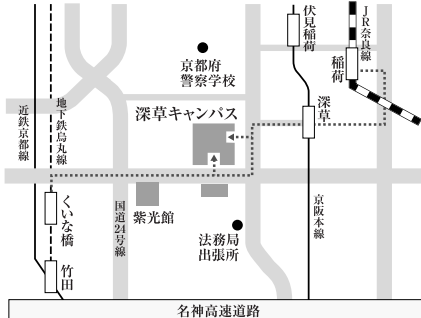
深草キャンパス



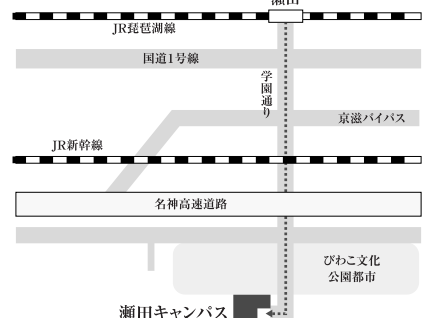
瀬田キャンパス



- JR東海道本線・近鉄京都線「京都」駅下車
北西へ徒歩約10分(市バス約3分)
- 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約20分
- 阪急京都線「大宮」駅下車
南へ徒歩約20分(市バス約5分)



- JR奈良線「稲荷」駅下車、南西へ徒歩約8分
- 京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約3分
- 京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車
東へ徒歩約7分



- JR琵琶湖線「瀬田」駅下車、帝産バス約8分



〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
TEL:075-645-7887(入試部ダイヤルイン)
FAX:075-645-4155

<http://www.ryukoku.ac.jp/>

大宮キャンパス

文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学※1、歴史学科※2(日本史学専攻※2・東洋史学専攻・仏教史学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科

深草キャンパス

文学部 / 真宗学科、仏教学科、哲学科(哲学専攻・教育学専攻)、臨床心理学※1、歴史学科※2(日本史学専攻※2・東洋史学専攻・仏教史学専攻)、日本語日本文学科、英語英米文学科

経済学部 / 現代経済学科、国際経済学科
経営学部 / 経営学科
法学部 / 法律学科、政治学科
政策学部 / 政策学科
短期大学部 / 社会福祉学科、こども教育学科

瀬田キャンパス

理工学部 / 数理情報学科、電子情報学科、機械システム工学科、物質工学科、情報メディア学科、環境ソリューション工学科
社会学部 / 社会学科、コミュニティマネジメント学科、地域福祉学科、臨床福祉学科
国際文化学部 / 国際文化学科

※1 2012年4月開設予定・届出済
※2 2012年4月名称変更予定・届出済